

2010年度 環境活動レポート

国際ホテルの0、食品残渣削減の取り組み



ドギーバッグサービス ver.2

パーティーで
食べきれなかった
料理をお持ち帰り



★宴席にドギーバックを
ご利用いたします

食品残渣削減のため、ご宴会（パーティー）で食べきれなかった
お料理をドギーバッグに詰めてお持ち帰りください。
エコマインドを持つお客様と一緒に取り組む食エコ活動です。

- お持ち帰り可能な料理には指定があります。
- お客様の自己責任でこのサービスをご利用ください。
- お持ち帰りいただいた料理は本日中にお召し上がり下さい。

お客様と取り組む
地球環境活動



もったいない！もってかえろう♪

「環境に配慮したホテル」を目指します。

 国際ホテルグループ



横浜国際ホテル 新横浜国際ホテル 立川グランドホテル

国際ホテル株式会社

目 次

. 事業概要および環境報告の対象	1 ページ
1 . 事業概要	
2 . 環境報告の対象	
. 環境方針および環境行動計画	2 ~ 3 ページ
1 . 環境方針	
2 . 環境行動計画と目標達成状況	
. 省エネルギーの取組み	4 ~ 13 ページ
1 . エネルギー使用量	
2 . 電気使用量	
3 . ガス使用量	
4 . 省エネ対策として取組んだこと	
. 食品リサイクルの取組み	14 ~ 17 ページ
1 . 食品リサイクルの実績推移	
2 . ドギーバッグサービスの状況	
3 . 食品残渣のメタンガス化について	
. 環境に対する意識向上への取組み	18 ページ
1 . 環境提案活動の実績	
. 継続している環境活動の取組み	19 ~ 28 ページ
1 . 継続している環境配慮の実績	

．事業概要および環境報告の対象

1 ．事業概要

商号	国際ホテル株式会社
所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-7-8 TEL 045-474-0121 (代表)
設立	1982 (昭和 57) 年 9 月
資本金	5,000 万円
事業内容	ホテルの経営、宴会場・レストランの経営
代表者	代表取締役 滝本 満夫
環境管理責任者	専務取締役 寺谷 捷彦
売上高	59 億円 (2011 年 3 月期)
従業員数	213 名 (2011 年 4 月現在)
事業所	新横浜国際ホテル (登ホ第 1074 号) 立川グランドホテル (登ホ第 1000 号) 横浜国際ホテル (登ホ第 783 号)

2 ．環境報告の対象

対象組織	新横浜国際ホテル (本館) 横浜市港北区新横浜 3-18-1 (南館) 横浜市港北区新横浜 3-7-8 立川グランドホテル 立川市曙町 2-14-16 横浜国際ホテル 横浜市西区南幸 2-16-28
報告対象期間	2010 年 4 月 ~ 2011 年 3 月
作成部署、連絡先	国際ホテル株式会社 業務支援室 ISO 事務局 TEL 045-474-0121 FAX 045-474-0150 e-mail : somu@khgrp.co.jp

．環境方針および環境行動計画

1．環境方針

国際ホテルは、環境方針に基づき「環境に配慮したホテル」を目指す仕組みをつくってまいります。

基本理念

国際ホテルは、地域社会に密着した都市型ホテルとして、やすらぎに満ちた空間と心あたたまるサービスを提供すると共に、環境問題が人類共通の最重要課題であることを強く認識し、下記の方針に取り組むことにより『環境に配慮したホテル』を目指します。

方針

- 1．環境マネジメントシステムの継続的改善および環境汚染の予防に努めます。
- 2．環境に関する法規制およびその他の要求事項を順守します。
- 3．ホテルの事業活動における環境影響項目の内、特に以下の項目の改善に努めます。
 - (1)エネルギー使用量の削減
 - (2)食品廃棄物の削減
 - (3)環境改善活動の啓蒙

以上のことを実行するため環境目的・目標を設定し、且つこれを定期的に見直します。又この環境方針は、全従業員に周知徹底すると共に広く社外にも開示します。



2．環境行動計画と目標達成状況

環境行動計画は、電気・ガスなどのエネルギー使用量を減らすこと、食品の再生利用率を高め、ゴミ（廃棄物）を出さないようにすること、従業員からの環境改善提案を出してもらい、環境改善活動への参画意識を高めることの3項目を、2009年～2011年にかけての中長期目標としました。

各年度の目標値および今年度(2010年度)の目標達成結果は次ページの通りです。

1) 中長期目標と今年度達成状況

目 的	2009 年度	2010 年度	2011 年度
	目 標		
エネルギー使用量を 2011 年度までに 3%削減する。	全社で 2008 年比 1% の省エネを 達成する。 (30 キロリットル)	全社で 2008 年比 2% の省エネを 達成する。 (60 キロリットル)	全社で 2008 年比 3% の省エネを 達成する。 (90 キロリットル)
食品の再生利用等 実施を 2011 年度 までに基準実施率 30%達成する。	全社で 2009 年度 基準実施率 26%達成。	全社で 2010 年度 基準実施率 28%達成。	全社で 2011 年度 基準実施率 30%達成。
環境に対して、 関心を高める。	全社で 提案件数が 年間で 30 件以上	全社で 提案件数が 年間で 90 件以上	全社で 提案件数が 年間で 90 件以上

2010 年度
達成状況・達成度
エネルギー使用量 1.4%削減 40 キロリットル 未達成
食品の再生利用等実施率 55.4%達成 
年間提出数 219 件 

今年度は、

エネルギー使用量を 2008 年比 2% (原油換算 60kl) 削減の目標でしたが、横浜国際ホテルの電気、新横浜国際ホテルのガス使用量が 2008 年度比で増加してしまい未達成となりました。

食品の再生利用等実施率の 28%達成については、55.4%と大幅に達成できました。これは立川グランドホテルで食品残渣のメタンガス化を開始したことによるものです。

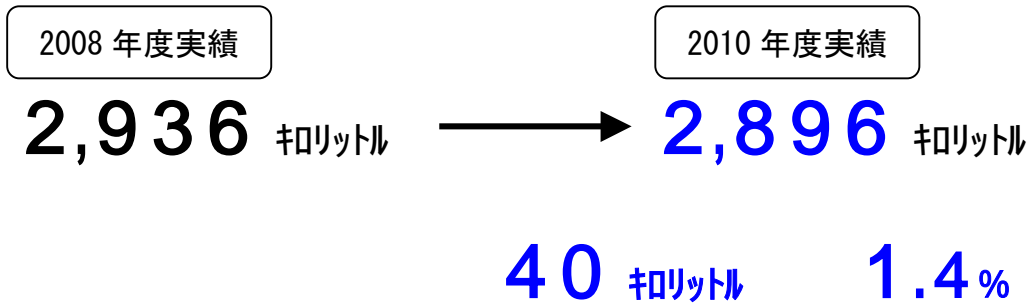
提案件数も目標の 90 件を大幅にクリアし 219 件となりました。

しかし、各ホテルの取組みによる差が大きく、今後は提案の質的向上を目指す為の対策が必要と思われます。

省エネルギーの取組み

1. エネルギー使用量

エネルギー使用量（原油換算）



1) エネルギー使用量の実績推移

電気使用量とガス使用量を合算して、原油換算した数値です。

項目 \ 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度
実績	2,936kl	2,856kl	2,896kl
2008 年比削減量		80kl	40kl
2008 年比削減率		2.7%	1.4%
目標			
2008 年比削減量		30kl	60kl
2008 年比削減率		1.0%	2.0%

2) ホテル別エネルギー使用量の実績推移

（単位 kl）

事業所名	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2008 年度比
新横浜国際ホテル	1,489	1,455	1,471	18
立川グランドホテル	898	871	862	36
横浜国際ホテル	549	530	563	14
計	2,936	2,856	2,896	40

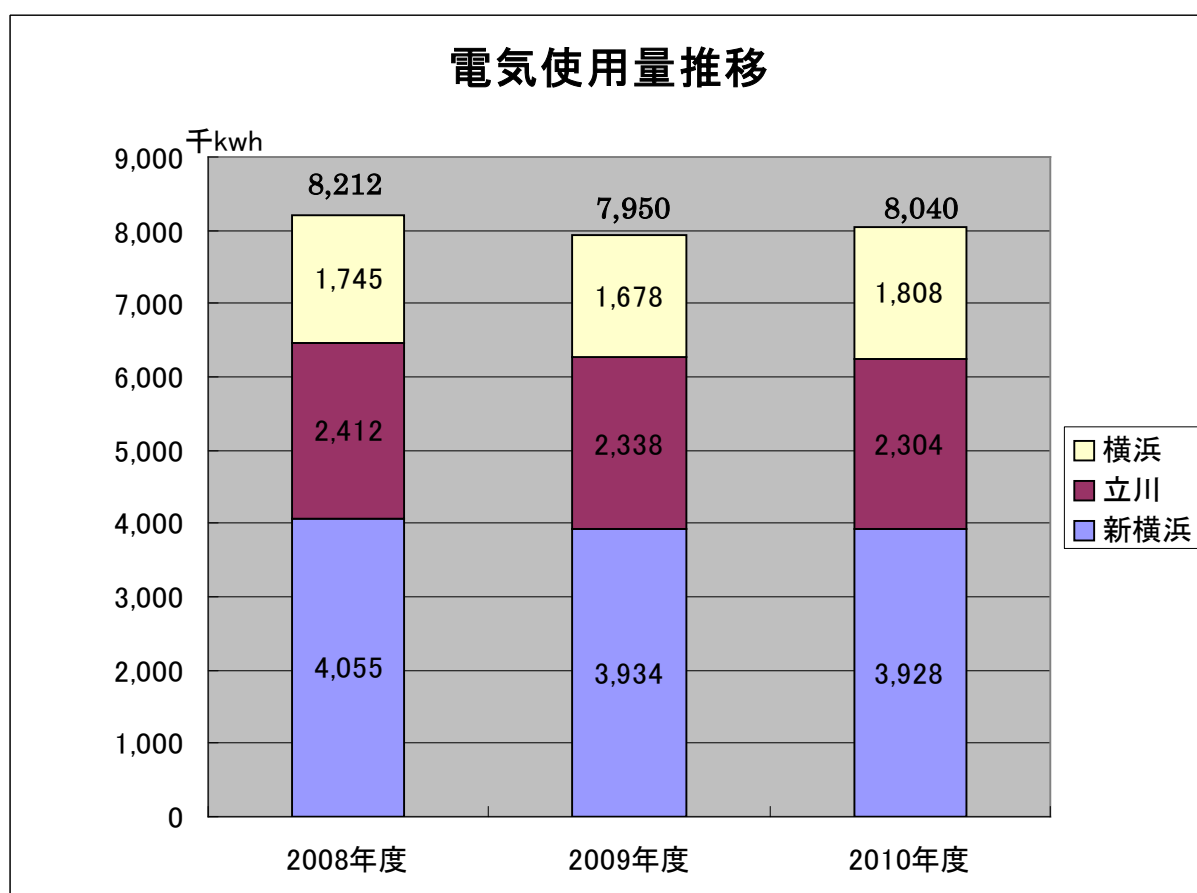
2. 電気使用量

1) 電気使用量の年度別実績推移

(単位 千kwh)

事業所名	2008年度	2009年度	2010年度	2008年度比
新横浜国際ホテル	4,055	3,934	3,928	127
立川グランドホテル	2,412	2,338	2,304	108
横浜国際ホテル	1,745	1,678	1,808	63
計	8,212	7,950	8,040	172

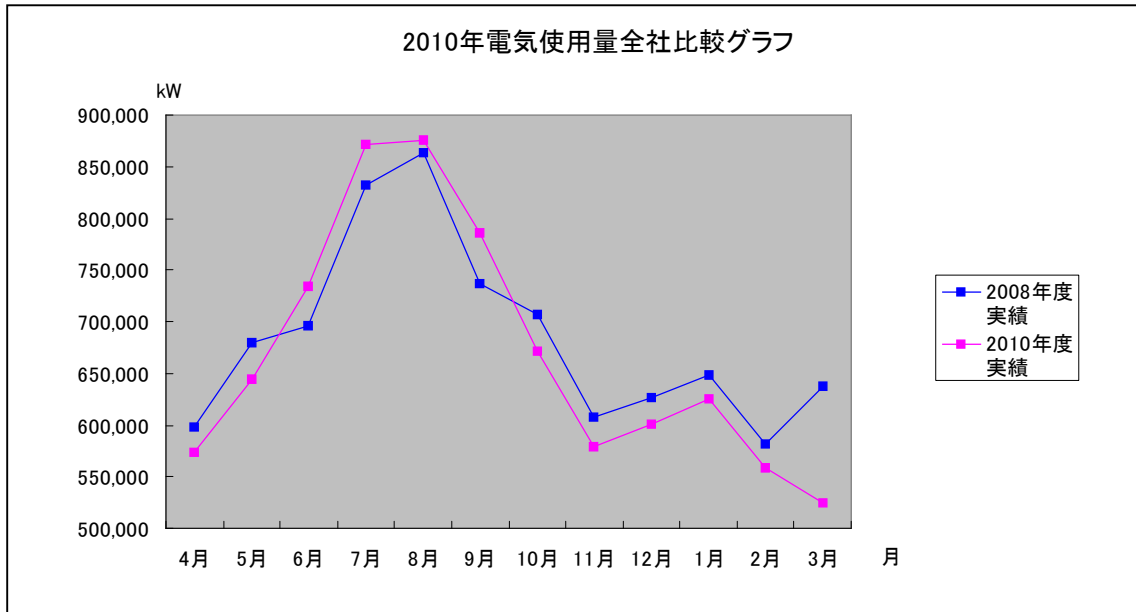
省エネルギーの取組み



2009年度の総使用量は減少傾向にありましたが、2010年度は夏場の猛暑の影響で、空調設備の使用量が増加したと考えられます。

2) 2010年度電気使用量の月別実績推移(2008年度対比)

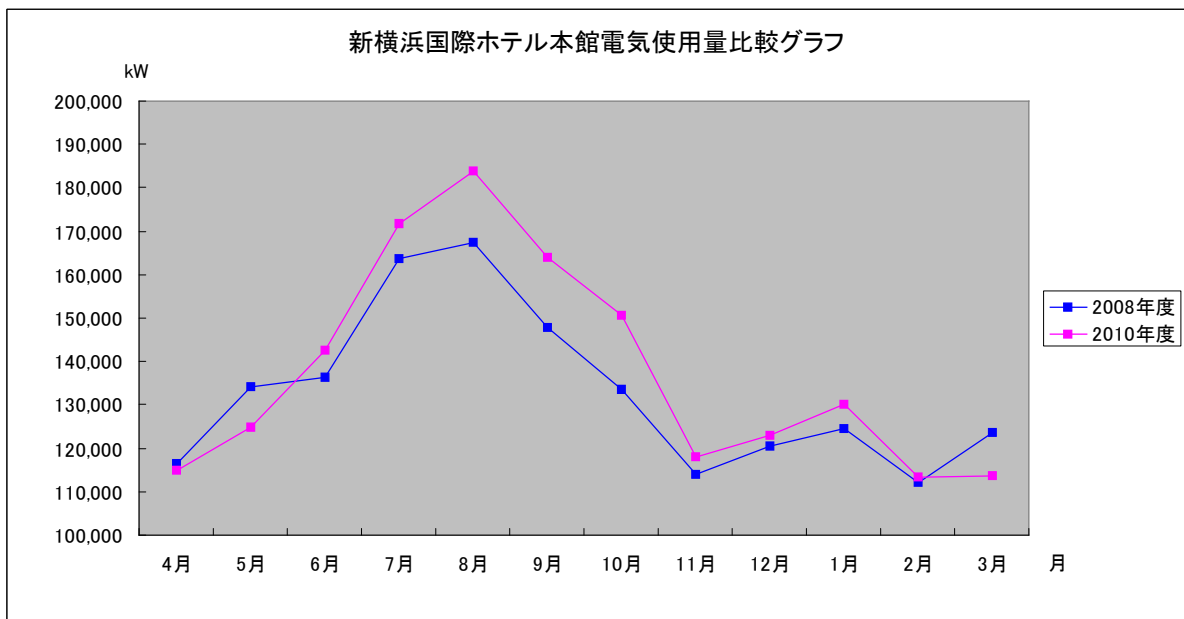
全社合計



(単位 kWh)

ホテル全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度実績	597,366	679,654	696,524	832,350	862,662	736,500	706,304	606,845	627,133	647,904	581,136	637,878	8,212,256
2010年度実績	572,940	644,164	733,649	871,247	875,390	785,401	671,891	578,744	600,874	625,299	557,878	524,356	8,041,833
増減	-24,426	-35,490	37,125	38,897	12,728	48,901	-34,413	-28,101	-26,259	-22,605	-23,258	-113,522	-170,423

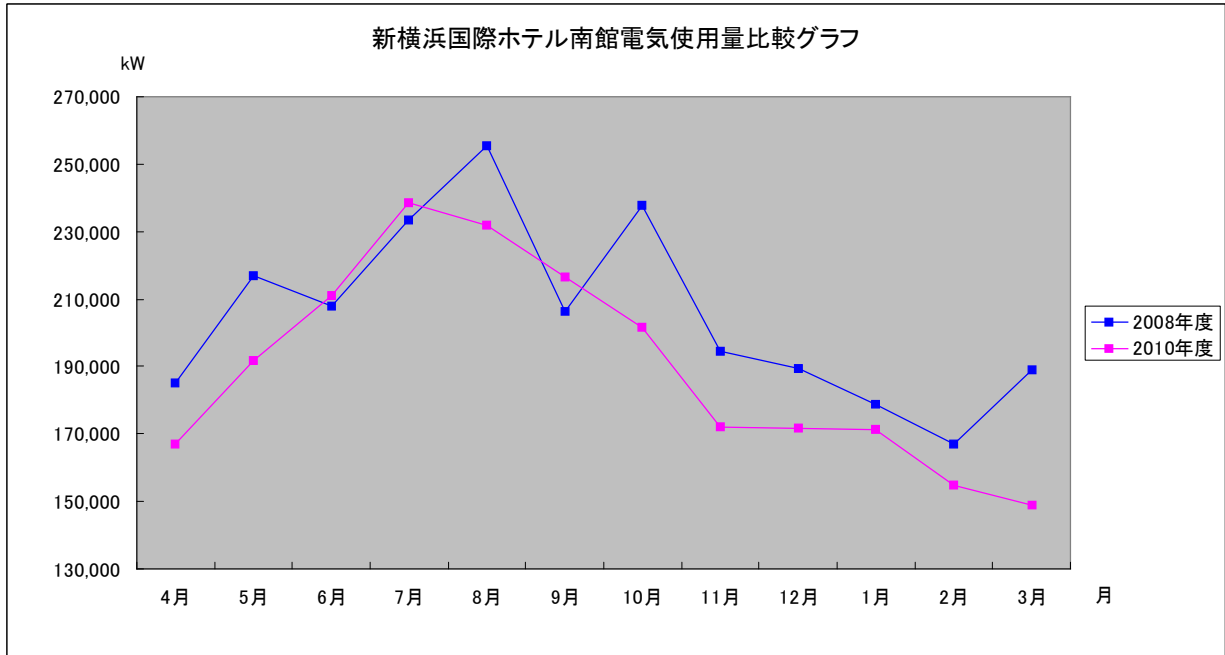
新横浜国際ホテル 本館



(単位 kWh)

新横浜 本館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	116,550	134,166	136,374	163,518	167,310	147,732	133,482	114,036	120,438	124,656	112,032	123,534	1,593,828
2010年度	114,864	124,830	142,416	171,678	183,972	164,094	150,546	117,870	123,096	130,050	113,484	113,580	1,650,480
増減	-1,686	-9,336	6,042	8,160	16,662	16,362	17,064	3,834	2,658	5,394	1,452	-9,954	56,652

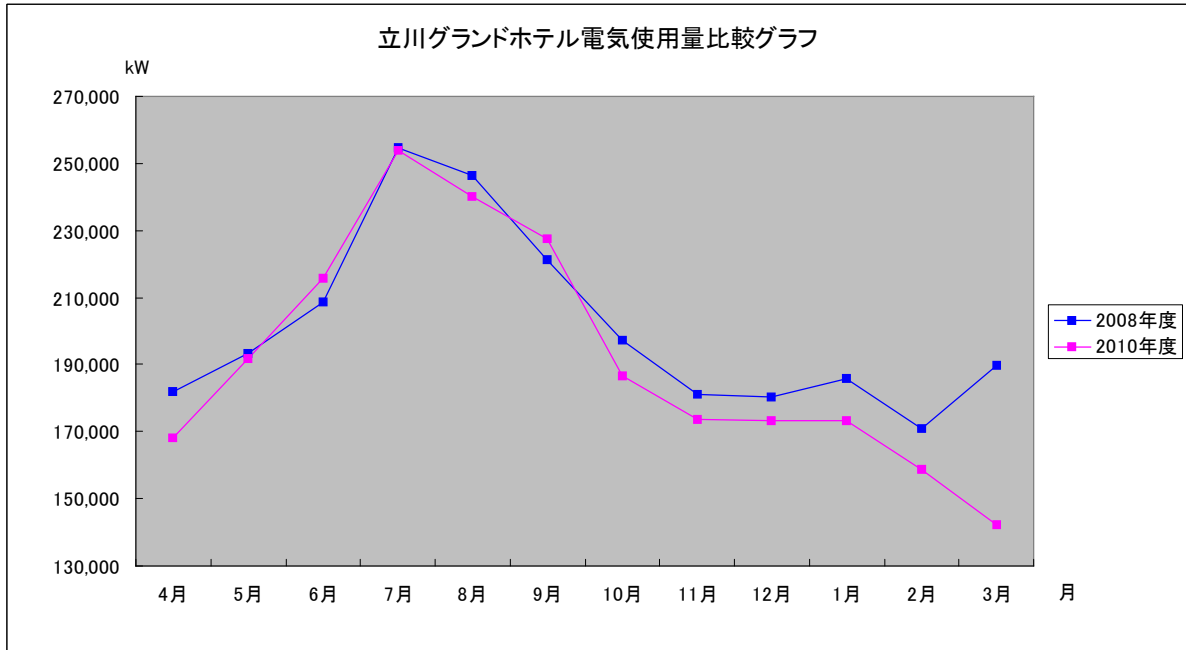
新横浜国際ホテル 南館



(単位 kWh)

新横浜 南館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	185,208	216,936	207,696	233,616	255,600	206,424	237,624	194,496	189,264	178,776	167,040	188,904	2,461,584
2010年度	167,016	191,688	211,200	238,704	231,912	216,576	201,720	172,224	171,696	171,456	154,848	148,800	2,277,840
増減	-18,192	-25,248	3,504	5,088	-23,688	10,152	-35,904	-22,272	-17,568	-7,320	-12,192	-40,104	-183,744

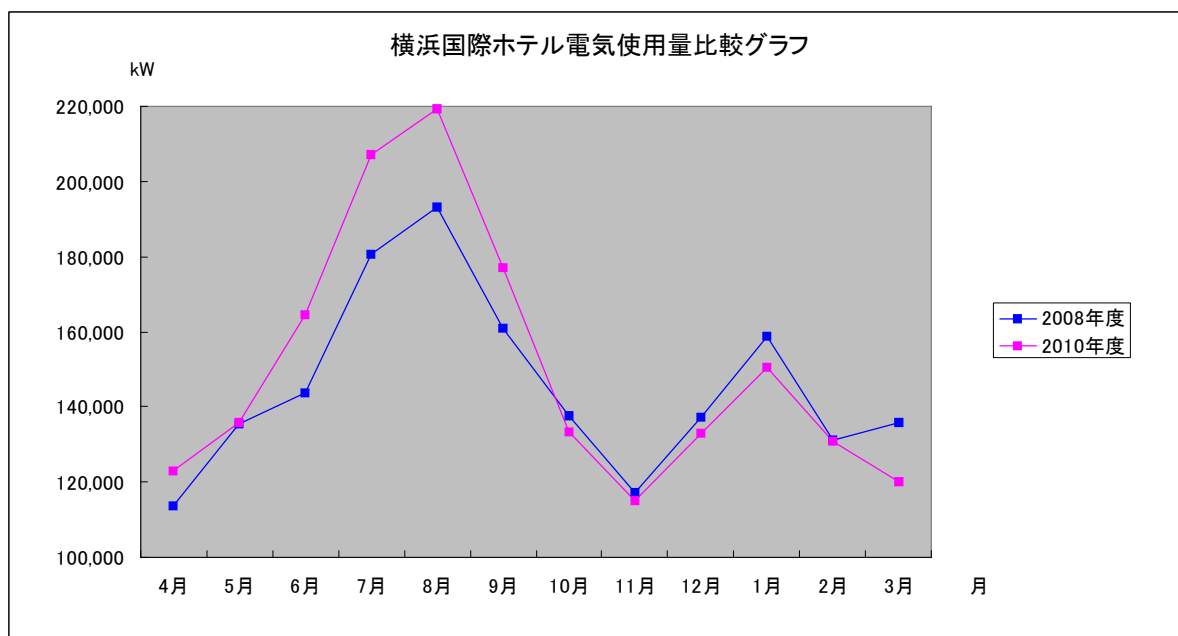
立川グランドホテル



(単位 kWh)

立川	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	181,848	193,224	208,824	254,736	246,552	221,304	197,438	181,193	180,151	185,832	171,024	189,600	2,411,726
2010年度	168,288	191,784	215,628	253,870	240,182	227,561	186,473	173,587	173,290	173,150	158,897	141,995	2,304,705
増減	-13,560	-1,440	6,804	-866	-6,370	6,257	-10,965	-7,606	-6,861	-12,682	-12,127	-47,605	-107,021

横浜国際ホテル



(単位 kWh)

西口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	113,760	135,328	143,630	180,480	193,200	161,040	137,760	117,120	137,280	158,640	131,040	135,840	1,745,118
2010年度	122,772	135,862	164,405	206,995	219,324	177,170	133,152	115,063	132,792	150,643	130,649	119,981	1,808,808
増減	9,012	534	20,775	26,515	26,124	16,130	-4,608	-2,057	-4,488	-7,997	-391	-15,859	63,690

ホテルにおいて、電気を使用している設備の主なものは、

1. 照明
2. チラーユニット
3. 空調関連ポンプ
4. 空調機
5. 排風機
6. 排煙機 などです。

電気使用量が大きく増加したのは、夏場の猛暑による空調設備の稼動が増えたためと思われます。特に横浜国際ホテルでは、冷房装置の「空冷ヒートポンプチラーユニット」が、電気のみを熱源として使用することが影響していると考えられます。

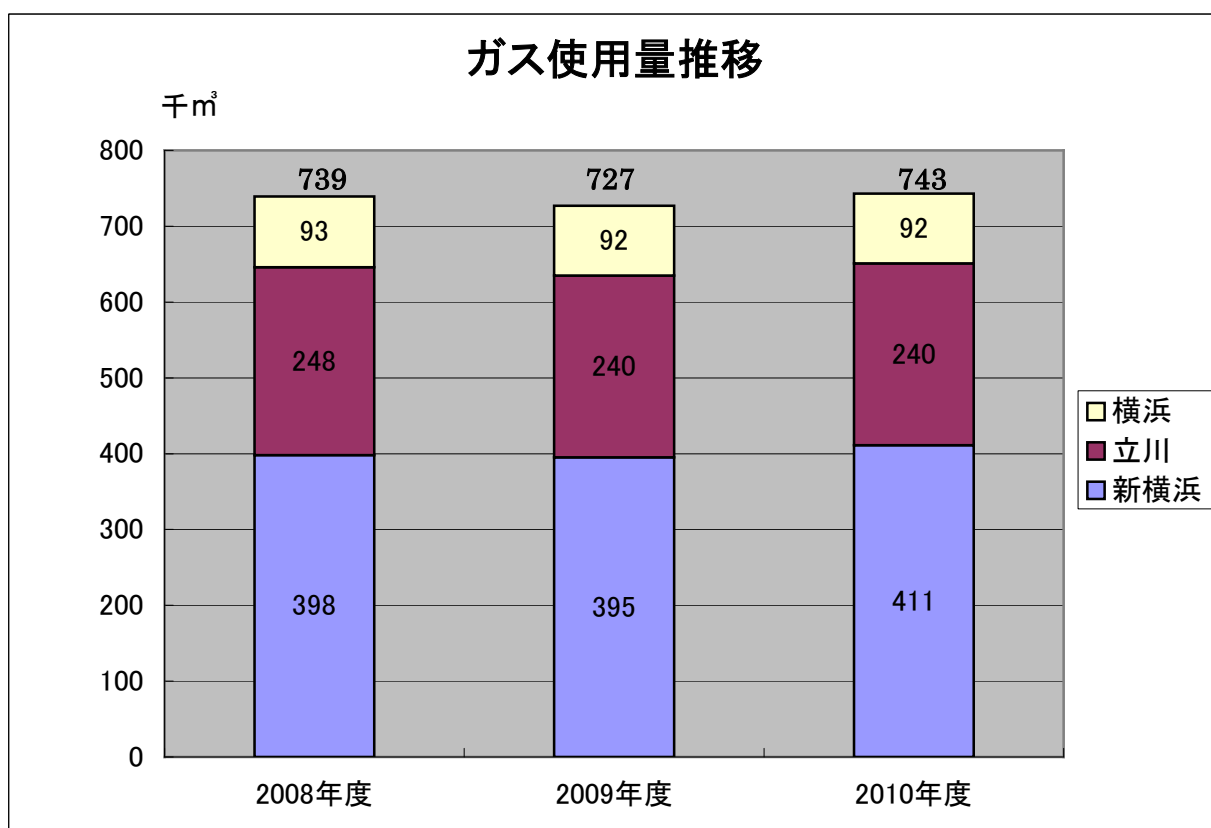
2011年3月は、各ホテルとも大幅に電気使用量が減少しています。これは3月11日に発生した東日本大震災以降の売上高の減少及び、節電の結果だと思われる。

3. ガス使用量

1) ガス使用量の年度別実績推移

(単位 千 m^3)

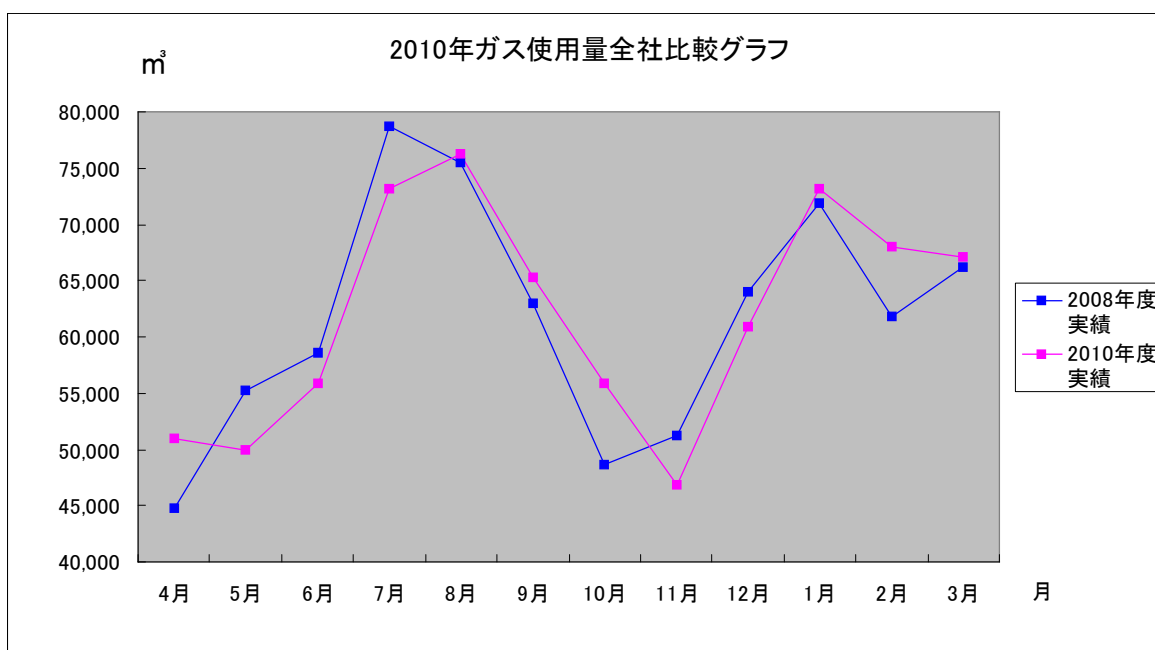
事業所名	2008年度	2009年度	2010年度	2008年度比
新横浜国際ホテル	398	395	411	13
立川グランドホテル	248	240	240	8
横浜国際ホテル	93	92	92	1
計	739	727	743	4



省エネルギーの取組み

電気使用量と同様に 2009 年度の総使用量は減少傾向にありましたが、2010 年度は増加してしまいました。

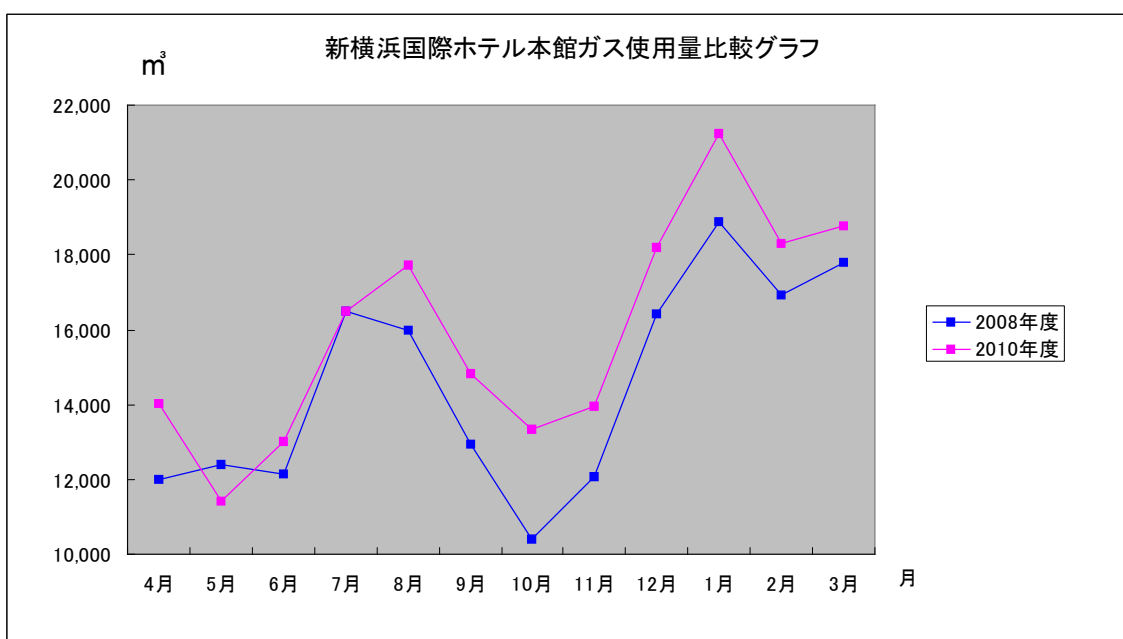
2) 2010年度ガス使用量の月別実績推移(2008年度対比) 全社合計



(単位 m³)

ホテル全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度実績	44,820	55,232	58,589	78,721	75,473	62,966	48,654	51,232	63,940	71,897	61,835	66,138	739,497
2010年度実績	50,914	49,922	55,815	73,203	76,312	65,264	55,840	46,872	60,915	73,215	68,025	67,081	743,378
増減	6,094	-5,310	-2,774	-5,518	839	2,298	7,186	-4,360	-3,025	1,318	6,190	943	3,881

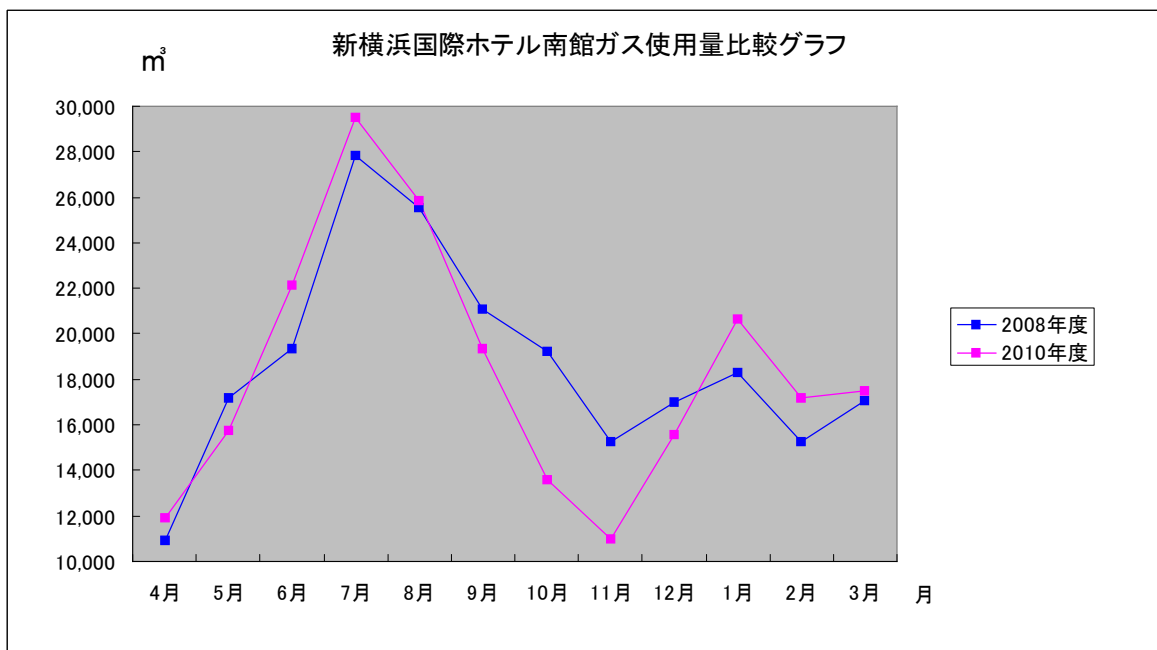
新横浜国際ホテル 本館



(単位 m³)

新横浜 本館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	12,002	12,391	12,136	16,484	15,988	12,931	10,411	12,080	16,425	18,889	16,911	17,812	174,460
2010年度	14,039	11,396	13,006	16,475	17,719	14,809	13,326	13,959	18,208	21,243	18,296	18,766	191,242
増減	2,037	-995	870	-9	1,731	1,878	2,915	1,879	1,783	2,354	1,385	954	16,782

新横浜国際ホテル 南館

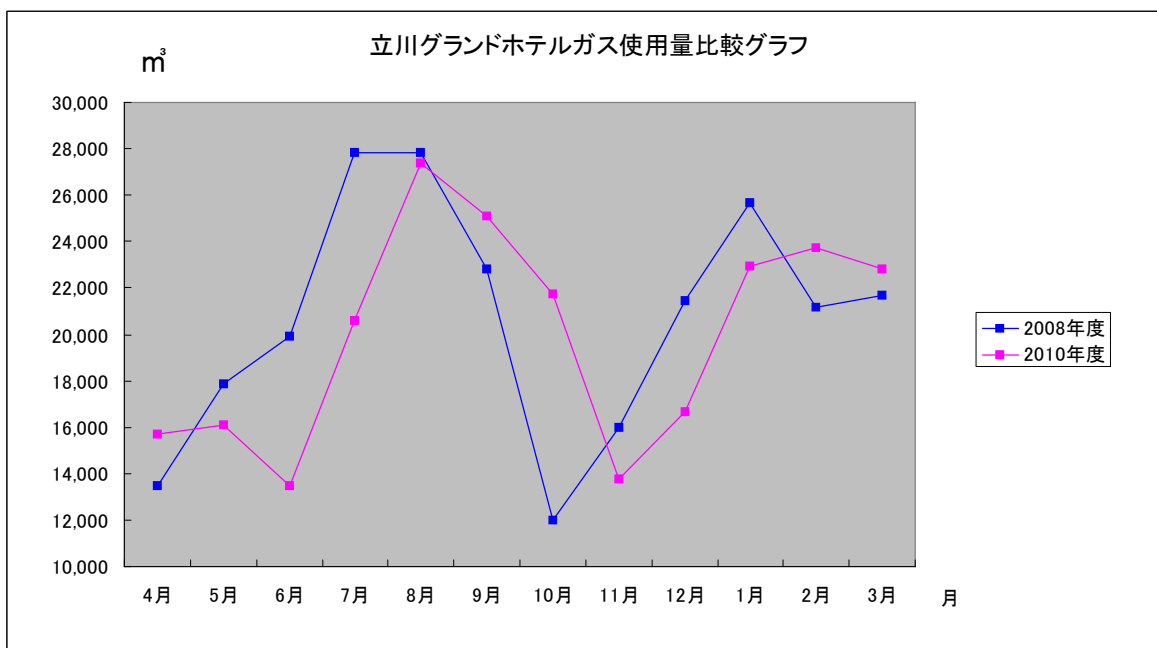


(単位 m³)

新横浜 南館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	10,935	17,205	19,364	27,830	25,548	21,077	19,247	15,284	16,967	18,298	15,273	17,028	224,056
2010年度	11,913	15,751	22,133	29,489	25,845	19,321	13,595	11,006	15,547	20,635	17,208	17,464	219,907
増減	978	-1,454	2,769	1,659	297	-1,756	-5,652	-4,278	-1,420	2,337	1,935	436	-4,149

省エネルギーの取組み

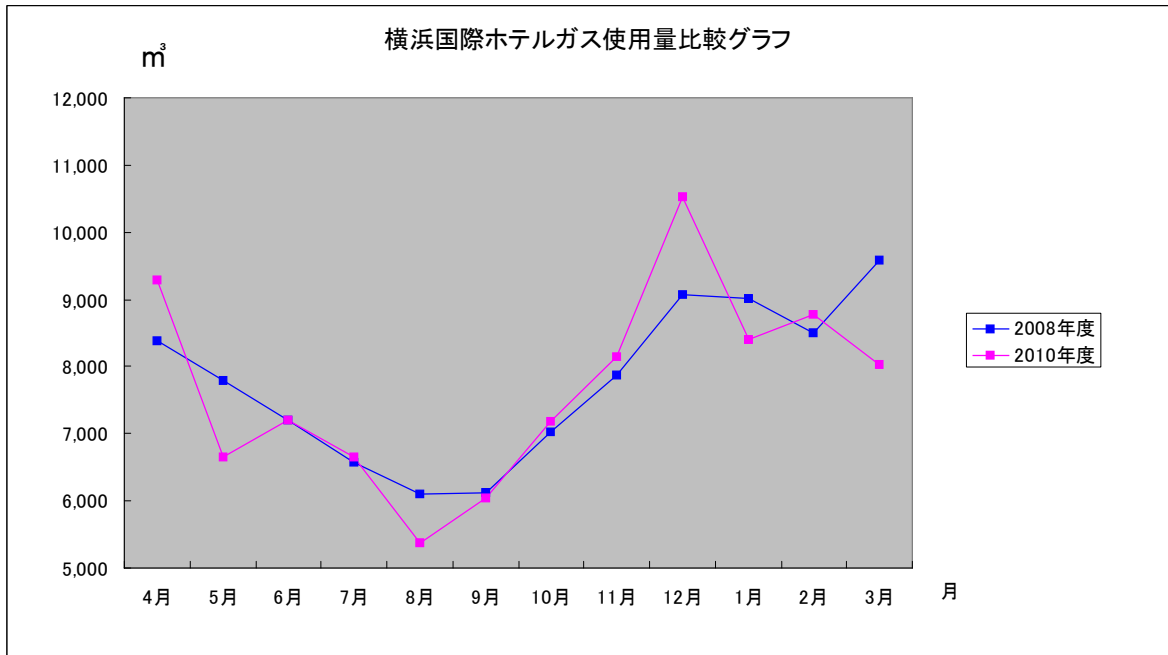
立川グランドホテル



(単位 m³)

立川	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	13,494	17,844	19,894	27,829	27,839	22,829	11,969	16,004	21,470	25,696	21,147	21,709	247,724
2010年度	15,677	16,125	13,468	20,589	27,371	25,086	21,745	13,758	16,641	22,944	23,737	22,816	239,957
増減	2,183	-1,719	-6,426	-7,240	-468	2,257	9,776	-2,246	-4,829	-2,752	2,590	1,107	-7,767

横浜国際ホテル



(単位 m³)

西口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2008年度	8,389	7,792	7,195	6,578	6,098	6,129	7,027	7,864	9,078	9,014	8,504	9,589	93,257
2010年度	9,285	6,650	7,208	6,650	5,377	6,048	7,174	8,149	10,519	8,393	8,784	8,035	92,272
増減	896	-1,142	13	72	-721	-81	147	285	1,441	-621	280	-1,554	-985

ホテルにおいて、ガスを使用している設備の主なものは、

1. 冷温水発生機
2. ボイラー などです。

特に新横浜国際ホテル 本館でのガス使用量が大きく増加したのは、客室の空調設備である「冷温水発生機」が、ガスを熱源として使用しており、猛暑による影響と考えられます。

4. 省エネ対策として取組んだこと

1) 照明設備のLED化

LEDの現状（価格、寿命、種類、消費電力、保証時間等）及びホテルに設置してある電球の種類、個数等を調査しました。

上記調査を踏まえ、LED化した場合の費用対効果を検討したところ以下の通りでした。

$(\text{LED 購入代金} - \text{現状電球の年間購入代金}) \div (\text{年間電気使用料削減額})$ を計算すると、ロビー等のパブリックスペースへのLED導入に関しては、約1年半で回収可能、宴会場内のLED導入については約3年で回収可能となりました。しかし、LEDの調光については、まだ不安があります。

上記検討を踏まえて、以下の対策を実施することとしました。

イ) 当面はロビー等のパブリックスペースのハロゲンランプをLED化する。

ロ) ハロゲン以外の電球については、LEDあるいは省エネ電球の内、導入効果の高いものとする。

ハ) 宴会場などのLED化は今後の検討課題とする。

ニ) 客室は既に省エネ電球を採用している為、今後の課題とする。

これらの実施による電気使用量の削減量及びLED購入金額は以下の通りです。

事業所名	項目	年間電気使用量 (kwh)			年間電気代 削減額(千円)	LED 投資金額 (千円)
		現状	LED 設置後	削減量		
新横浜国際ホテル		167,500	14,700	152,800	1,528	1,592
立川グランドホテル		54,700	5,700	49,000	490	820
横浜国際ホテル		36,000	3,700	32,300	323	290
計		258,200	24,100	234,100	2,341	2,702

2) デマンドモニター導入による省エネ活動開始

2011年1月、全ホテルにてデマンドモニターの設置が完了しました。

デマンドモニター導入の目的は以下の通りです。

イ) ピークカットによる電気基本料金の低減

ロ) 運用改善による消費電力の削減

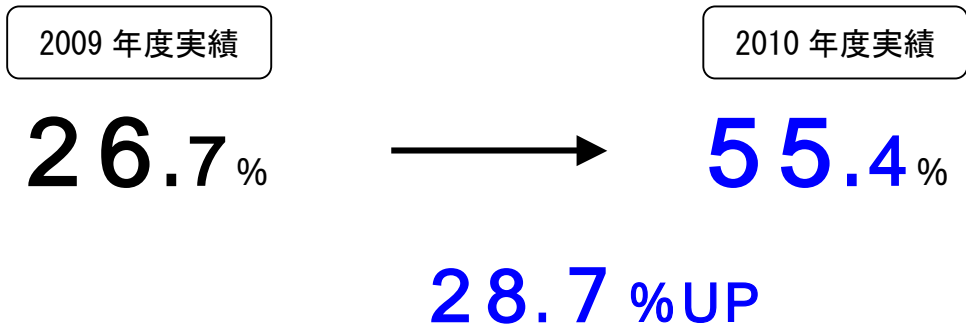
東日本大震災による電力節減の為、ピークカットを中心とした実施マニュアルを作成し、関係者の教育をホテル毎に実施しました。

. 食品リサイクルの取組み

1. 食品リサイクルの実績推移

下記は、食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）に基づいて、食品廃棄物を処分しないで、再生利用などの有効活用がどれくらいできたのかを比率であらわした数値です。2010年度は2009年度に対して2%UPの再生利用等実施率28%を目標としていましたが、55.4%の再生利用等実施率を達成することができました。

$$\text{食品廃棄物再生利用等実施率} = \frac{\text{発生抑制量} + \text{再生利用量(A)} + \text{熱回収(B)} \times 0.95 + \text{減量量(C)}}{\text{発生抑制量} + \text{発生量(A+B+C+処分量D)}}$$



1) 食品廃棄物再生利用等実施率の実績推移

項目 \ 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度
実績	24.0%	26.7%	55.4%
目標	24.0%	26.0%	28.0%

2) ホテル別食品廃棄物再生利用等実施率の実績推移

(単位 %)

事業所名	2008 年度	2009 年度	2010 年度
新横浜国際ホテル	46.4	54.9	57.0
立川グランドホテル	0.0	0.0	70.3
横浜国際ホテル	0.0	15.2	23.5
全社	24.0	26.7	55.4

2010年度に大幅に再生利用等実施率が上昇したのは、立川グランドホテルで、食品残渣のメタンガス化を実施したことによるものです。

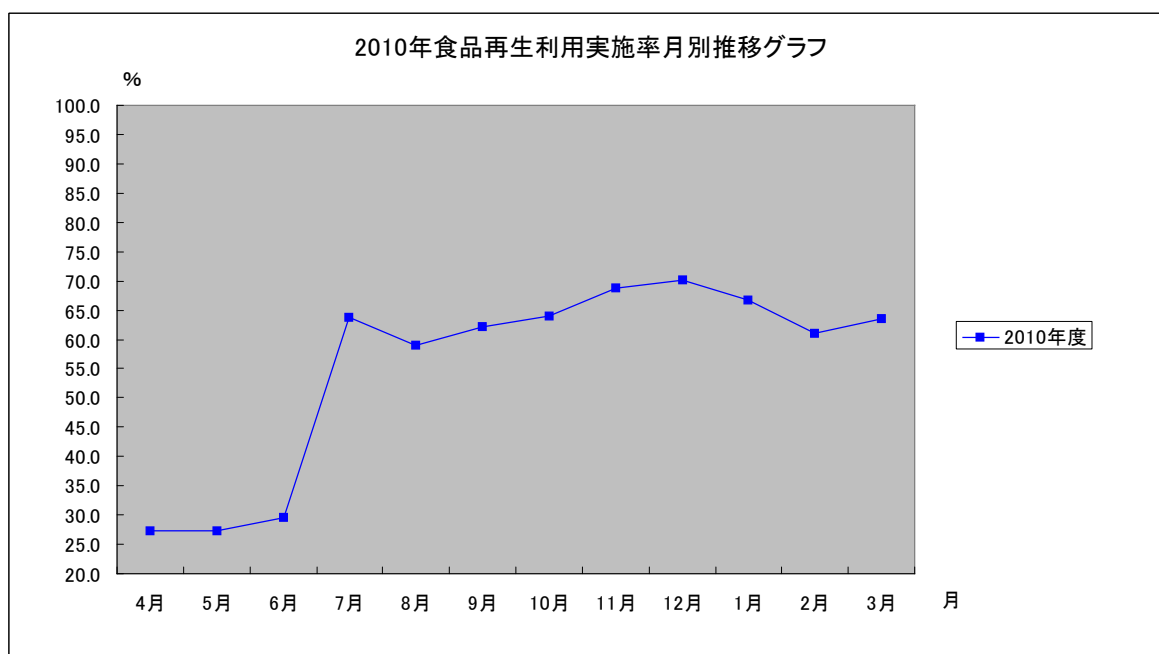
3) 食品廃棄物再生利用等実施率の月別実績推移

(単位 kg)

(単位kg)

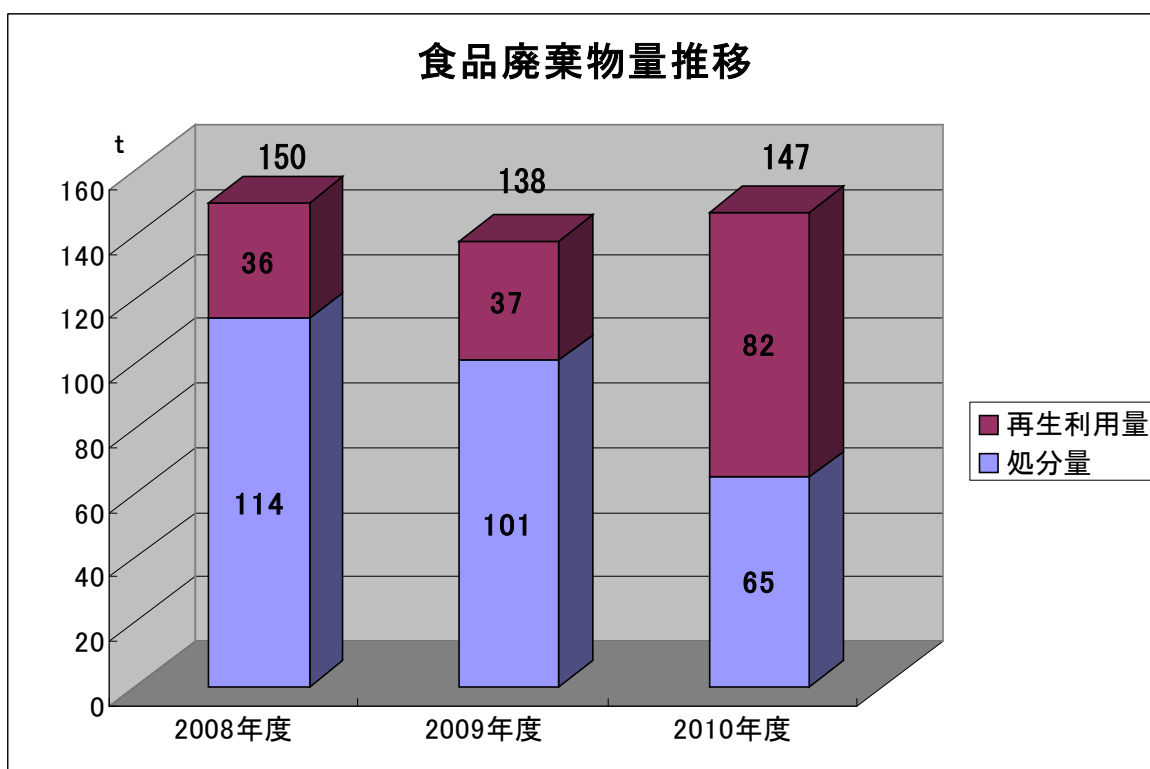
ホテル		2010年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2011年1月	2月	3月	計
新横浜	処分量	2,335	2,700	2,060	2,190	2,525	2,590	2,760	2,645	2,830	2,690	2,580	2,205	30,110
	再生利用量 (飼料化)	2,965	3,120	3,325	2,975	2,545	3,300	3,270	4,205	4,525	3,640	2,630	3,160	39,660
	減少量 (水切り量)	32	34	35	28	16	13	17	16	17	19	8	7	242
	総発生量	5,332	5,854	5,420	5,193	5,086	5,903	6,047	6,866	7,372	6,349	5,218	5,372	70,012
	再生利用量 (メタンガス化)	0	0	0	3,933	3,179	3,440	4,110	4,580	5,310	4,470	3,640	2,660	35,322
立川	処分量	4,873	4,995	5,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,958
	再生利用量 (メタンガス化)	0	0	0	3,933	3,179	3,440	4,110	4,580	5,310	4,470	3,640	2,660	35,322
	減少量 (水切り量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総発生量	4,873	4,995	5,090	3,933	3,179	3,440	4,110	4,580	5,310	4,470	3,640	2,660	50,280
	再生利用量 (メタンガス化)	0	0	0	3,933	3,179	3,440	4,110	4,580	5,310	4,470	3,640	2,660	35,322
西口	処分量	1,690	1,810	1,640	1,950	1,660	1,750	1,790	1,740	1,825	1,690	1,720	1,460	20,725
	再生利用量 (飼料化)	335	415	340	365	290	390	715	865	1,025	615	440	575	6,370
	減少量 (水切り量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総発生量	2,025	2,225	1,980	2,315	1,950	2,140	2,505	2,605	2,850	2,305	2,160	2,035	27,095
	再生利用量 (飼料化)	335	415	340	365	290	390	715	865	1,025	615	440	575	6,370
全社総発生量①	12,230	13,074	12,490	11,441	10,215	11,483	12,662	14,051	15,532	13,124	11,018	10,067	147,387	
全社再生利用量②	3,300	3,535	3,665	7,273	6,014	7,130	8,095	9,650	10,860	8,725	6,710	6,395	81,352	
全社減少量③	32	34	35	28	16	13	17	16	17	19	8	7	242	
再生利用等実施率 (②+③)÷①×100	27.2	27.3	29.6	63.8	59.0	62.2	64.1	68.8	70.0	66.6	61.0	63.6	55.4	

食品リサイクルの取組み



2010年7月から実施率が上昇したのは、同月より立川グランドホテルで、食品残渣のメタンガス化が開始されたからです。食品残渣の排出物は、ほぼ100%メタンガス化される為、廃棄物としての処分量はゼロとなっております。

4) 食品廃棄物量等の実績推移



2010年度は、2009年度に比べて発生量が増加してしまいましたが、再生利用量も増えたため、結果的に処分量を減少することが出来ました。今後は発生量を削減するための対策が必要であると思われます。

2. ドギーバッグサービスの状況

1) お持ち帰り数量の実績推移

事業所名	2009年11月～ 2010年3月 累計	2010年4月～ 2011年3月 累計
	持ち帰りBOX数(個)	持ち帰りBOX数(個)
新横浜国際ホテル	2,206	1,893
立川グランドホテル	1,532	1,889
横浜国際ホテル	511	613
計	4,249	4,395

2010年度は、2009年度(5ヶ月間の実績)に比べて、持ち帰りBOX数があまり増えていませんが、食べ残しが減少しているものと考えられます。

2) 活性化のための対策

お持ち帰りメニューが 14 品目から 16 品目に増えました。
追加されたメニューは、パウンドケーキと胡麻団子です。
パンフレットが新しくなりました。

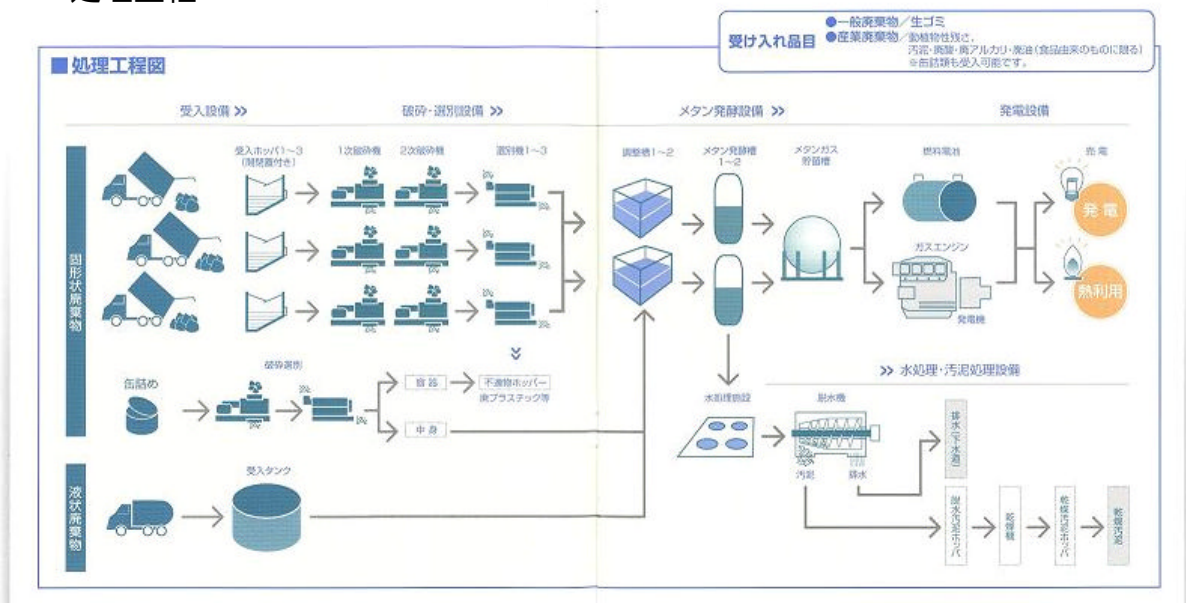


3. 食品残渣のメタンガス化について

食品残渣のメタンガス化は、バイオエナジー株式会社の城南島 食品リサイクル施設（東京都大田区城南島）に食品残渣を持ち込み実施されます。

収集された食品廃棄物は、固形状のものは、まず強力な「破砕機」にかけて微細化します。次に「選別機」で廃プラスチックなどの不適物を取り除き、メタン発酵の原料となる廃棄物を貯留し、「発酵槽」で「メタン発酵」を行ないます。メタン発酵によって発生した「メタンガス」は、「燃料電池」と「ガスエンジン」を組み合わせた「コージェネレーションシステム」に利用され、「電気」と「熱」のエネルギーを生み出します。

処理工程



「バイオエナジー株式会社 会社案内」より抜粋

環境に対する意識向上への取組み

1. 環境提案活動の実績

1) 提案提出数

取組みとして採用、不採用に関わらず、提出された総数です。
各ホテルによる取組みの差が大きく出ています。

(単位 件数)

事業所名	2009 年度	2010 年度
新横浜国際ホテル	142	60
立川グランドホテル	2	126
横浜国際ホテル	39	33
計	183	219

2) 取組みとして採用された主な提案

全社共通で実施している事項、単独ホテルのみで実施している事項があります。

提案内容
1. 生ゴミをバイオガス化する
2. 6時～24時迄常時点灯している、喫煙スペースの電球を省エネタイプに変更
3. ソースを冷やす氷を、ペットボトルの水を凍らせて代用する
4. ネオンサインの消灯時間 AM4:00 から AM1:30 へ変更
5. 納品されたランドリーの袋を次回のランドリーを出す際に利用する
6. 紙ナプキンはケナフを使う
7. 客室冷蔵庫の水を外国産から国内産に切り替えて輸送エネルギー - CO2 排出量を削減する
8. 婚礼下見会場専用のグラスを用意して、クリーニングに何度も出さないようにする
9. グラスへ注ぐドリンクは7分目とする
10. 電気使用量を毎月表示する(月毎に比較)
11. ペットボトルのラベルを剥がして(分別)廃棄する

2010年度の提案件数は、2009年度に比べて新横浜国際ホテルで減少しましたが、立川グランドホテルで増加した為、全体としては増えました。
今後は、提案の質的向上を目指す為の対策が必要と思われます。

. 継続している環境活動の取組み

1 . 継続している環境配慮の実績

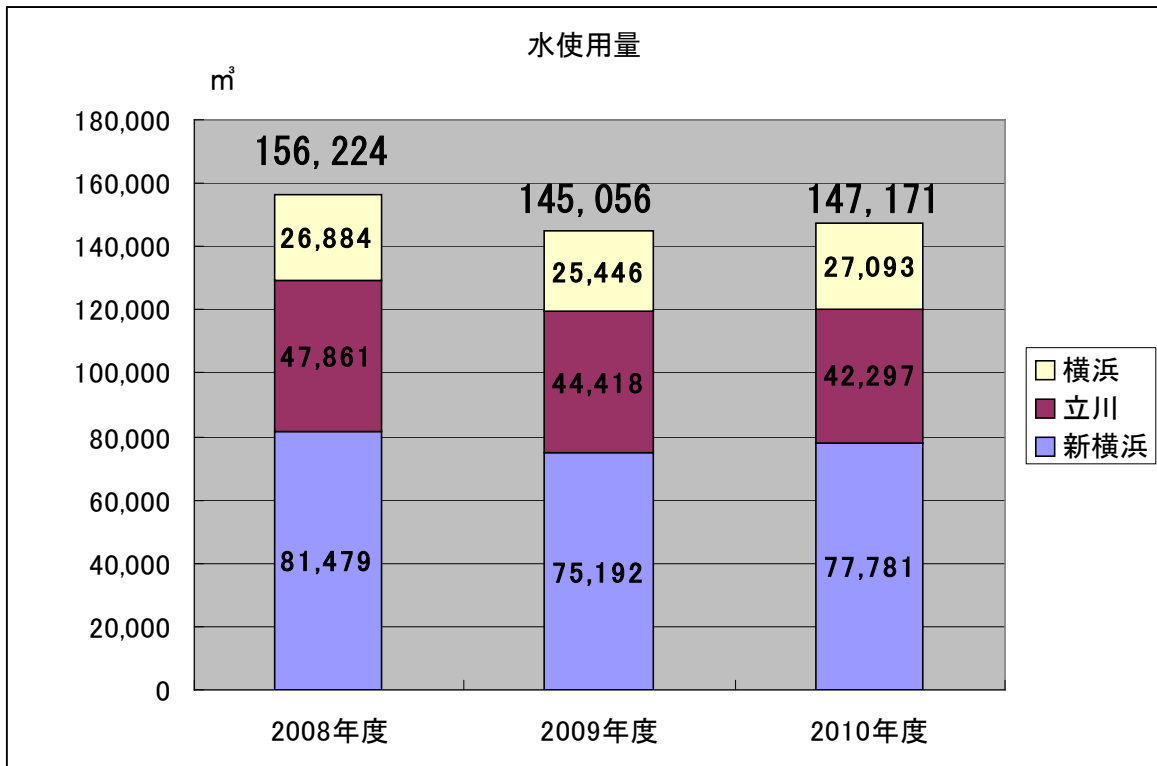
私達は、いままで様々な環境活動に取り組んできました。以下は、維持活動として現在も継続している活動の実績です。効果があがっていない活動に関しては、今後、改善策を検討していきたいと考えています。

1)水の使用量を削減する。

「水使用量」

(単位 m³)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	81,479	75,192	77,781
立川グランドホテル	47,861	44,418	42,297
横浜国際ホテル	26,884	25,446	27,093
計	156,224	145,056	147,171



2009年度は減少傾向にありましたが、2010年度は増加してしまいました。

2)ペットボトルのキャップを回収し、ワクチンと交換する。

「キャップ回収量」 (単位 個)

ホテル名	2009 年度	2010 年度
新横浜国際ホテル	46,280	91,800
立川グランドホテル	18,000	28,800
横浜国際ホテル	31,760	44,600
計	96,040	165,200

ポリオワクチンは 1 人分 20 円。キャップ **800 個** で 1 人分です。

(1 kg 400 個)

上記、**165,200 個**で**約 207 人分**のポリオワクチンを寄付できました。



3)ハイブリット車 (エコカー) で来館されるお客様に限り駐車料金の割引

「エコカー来館数」 (単位 台)

事業所名	2010 年度
新横浜国際ホテル	35



4)立川グランドホテルお客様トイレトーパー使いきりの案内をする

(目的) 森林伐採の削減。CO₂ (二酸化炭素) の削減

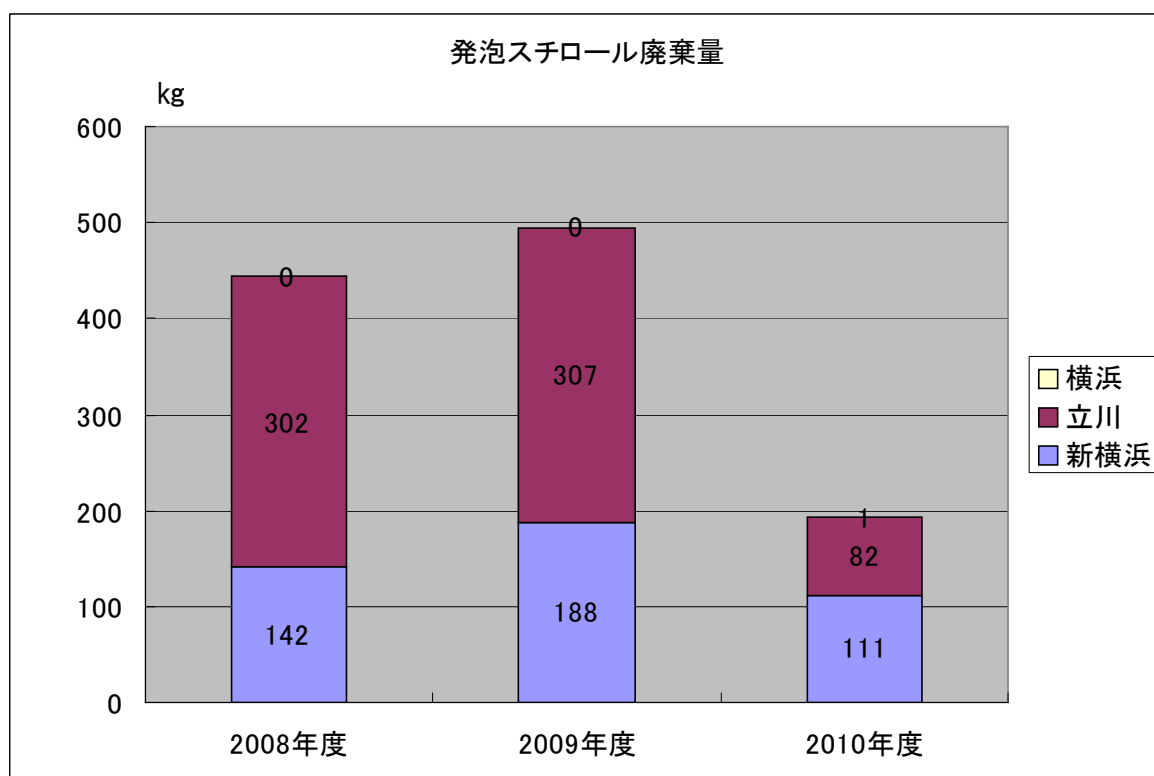


5)発泡スチロール箱を納入業者に引き取らせる。(廃棄物削減)

「発泡スチロール廃棄量」

(単位 kg)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	142	188	111
立川グランドホテル	302	307	82
横浜国際ホテル	0	0	1
計	444	495	194



2010年度は、2009年度に対して発泡スチロール箱が廃棄物として排出された量が半分以下でした。

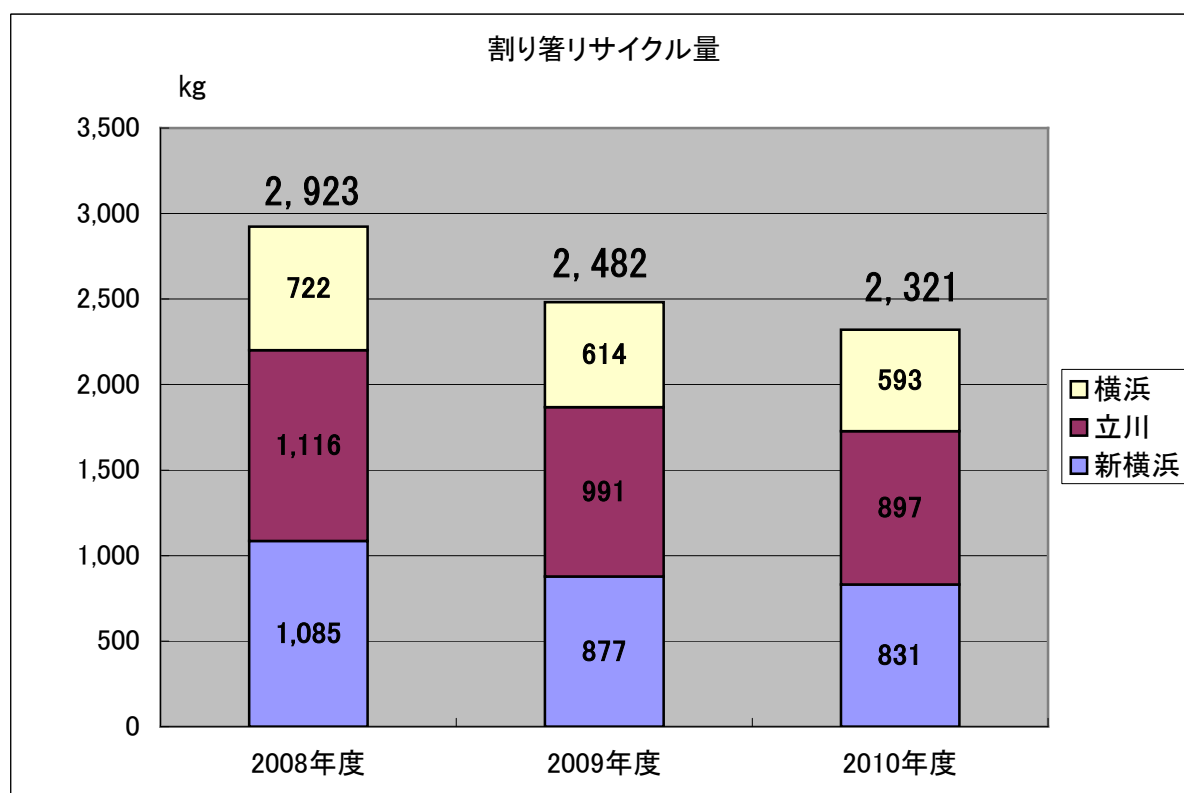
横浜国際ホテルでは、納入業者への発泡スチロール箱持ち帰りを徹底している為、廃棄量ゼロを達成しています。

6)使用済み割り箸を製紙工場へ送りリサイクルする。(廃棄物削減)

「割り箸リサイクル量」

(単位 kg)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	1,085	877	831
立川グランドホテル	1,116	991	897
横浜国際ホテル	722	614	593
計	2,923	2,482	2,321



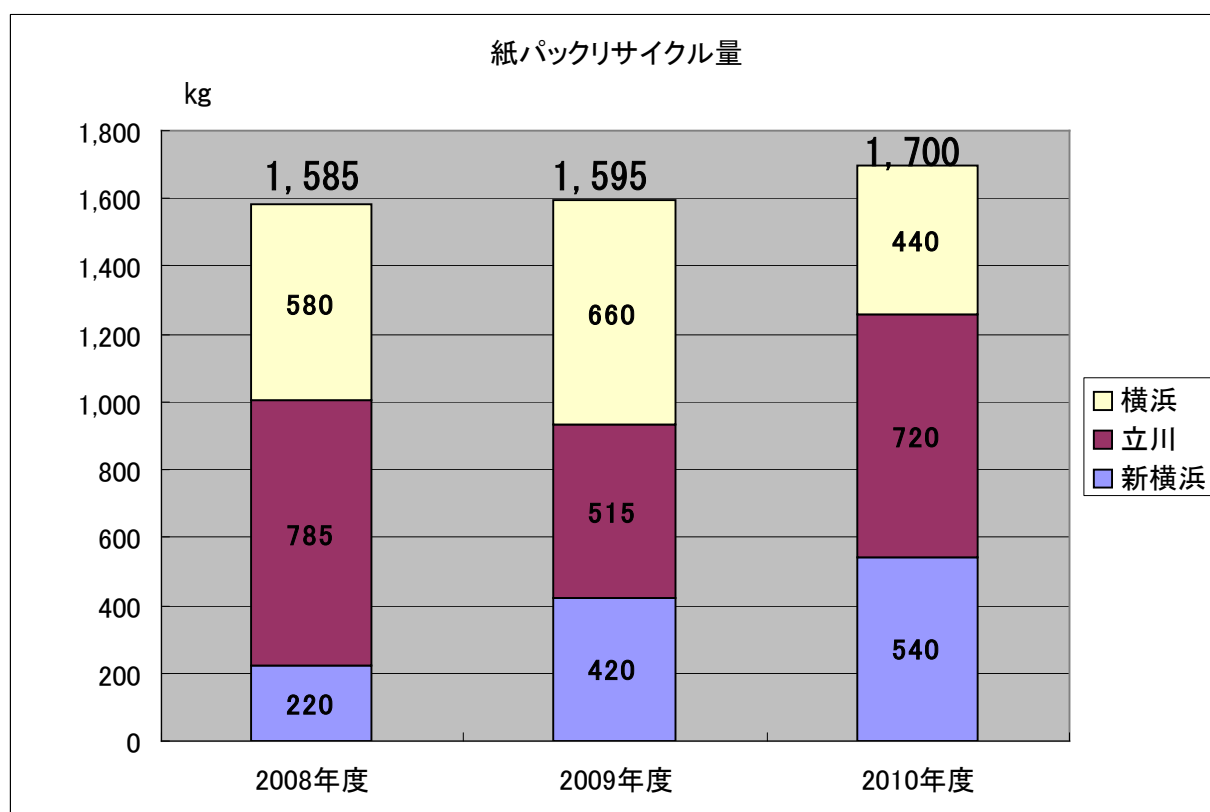
2010年度は、2,321 kg (約 580,250 膳) の割り箸をリサイクルできました。前年より減少したのは、立食パーティーなどで割り箸の提供方法を工夫(各テーブルに置かない等)した事も原因のひとつと考えられます。リサイクルした 2,321 kg は、**A4のコピー用紙の約 193,420 枚**に相当します。(3膳でA4コピー用紙1枚)

7)牛乳パックなどの紙パックをリサイクルする。(廃棄物削減)

「紙パックリサイクル量」

(単位 kg)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	220	420	540
立川グランドホテル	785	515	720
横浜国際ホテル	580	660	440
計	1,585	1,595	1,700



2010年度は、横浜国際ホテルでリサイクル量が減りましたが、
3 ホテル合計では、2009年度を上回るリサイクルができました。

紙パック容器にて納入している主な商品は、

1. 牛乳
2. 生クリーム
3. ジュース類、ウーロン茶
4. 飲むヨーグルト、ガムシロップ などです。

(上記商品の内、紙パックで納入していないホテルもあります。)

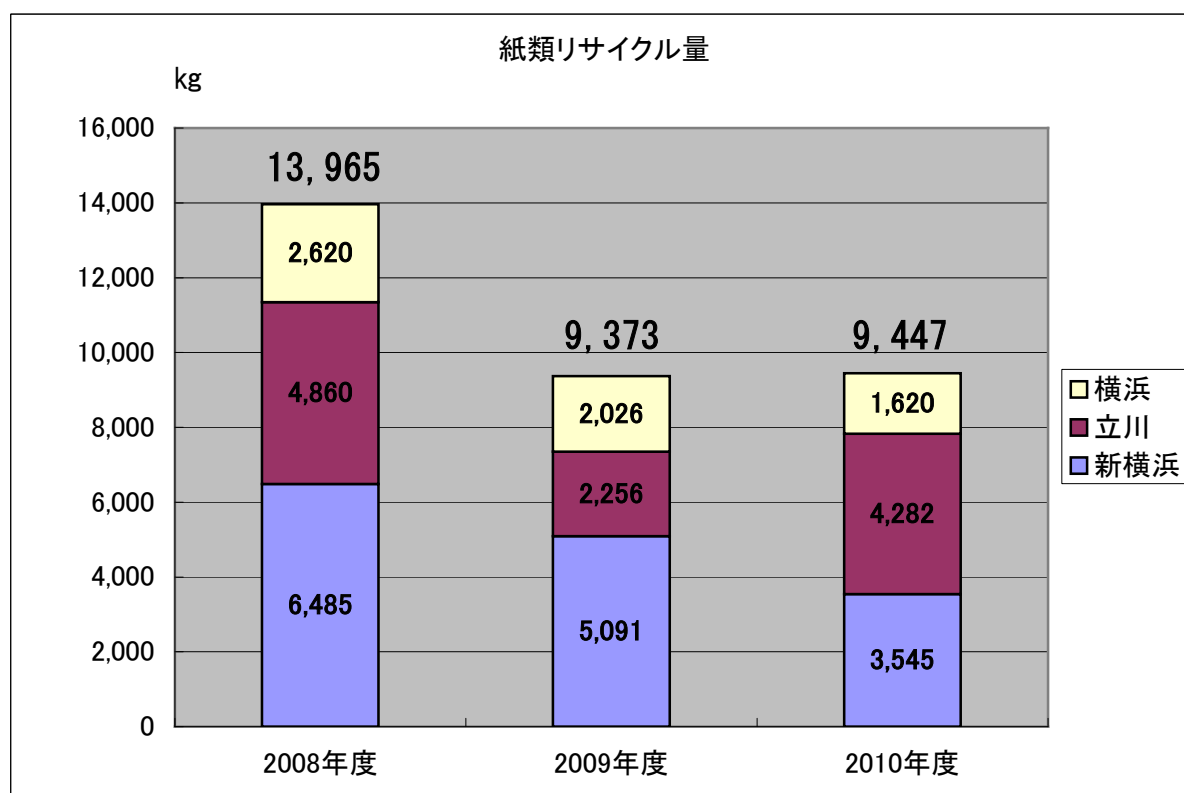
立川グランドホテルで2009年度より2010年度のリサイクル量が増加してしまっ
たのは、ジュース類やウーロン茶の一部を紙パック商品で納入した為と思われま
す。

8)コピー用紙等の紙類をリサイクルする。(廃棄物削減)

「紙類リサイクル量」

(単位 kg)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	6,485	5,091	3,545
立川グランドホテル	4,860	2,256	4,282
横浜国際ホテル	2,620	2,026	1,620
計	13,965	9,373	9,447



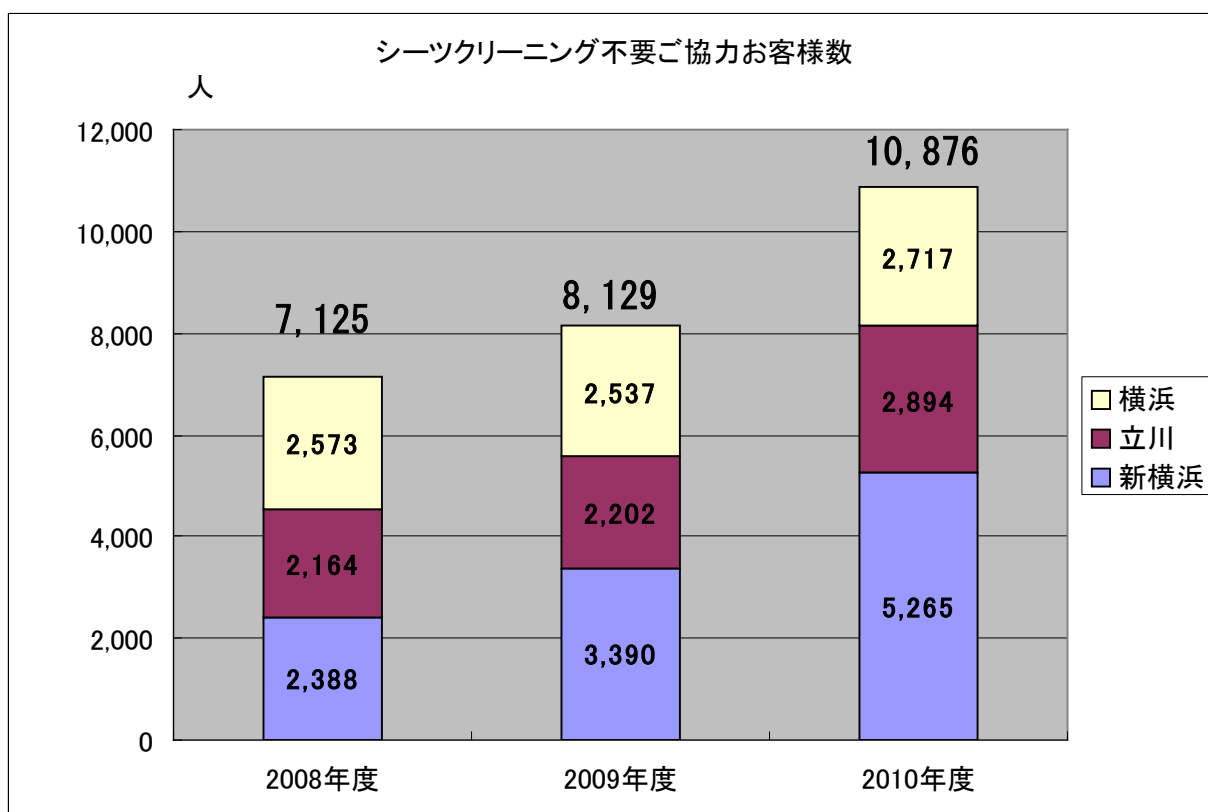
立川グランドホテルにおいて、2009年度より2010年度のリサイクル量が増加してしまったのは、紙を使用した資料が増えてしまったことと、保管されていた過去の資料が大量に残っていて、これを整理した為と思われます。

9) シーツクリーニング不要に協力していただいたお客様の人数。(水質汚濁の防止)

「シーツクリーニング不要ご協力お客様数」 (単位 人)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	2,388	3,390	5,265
立川グランドホテル	2,164	2,202	2,894
横浜国際ホテル	2,573	2,537	2,717
計	7,125	8,129	10,876

継続している環境活動の取組み



2010年度は、全てのホテルで、2009年度を上回るお客様にご協力をいただきました。

特に新横浜国際ホテルで大幅に増加した理由は、お客様からの希望があった場合のみ、連泊者のシーツ、枕カバーの交換を行うという、従来とは逆の告知方法を実施し、その成果がでた結果と考えられます。

【環境活動告知プレート(新横浜)】

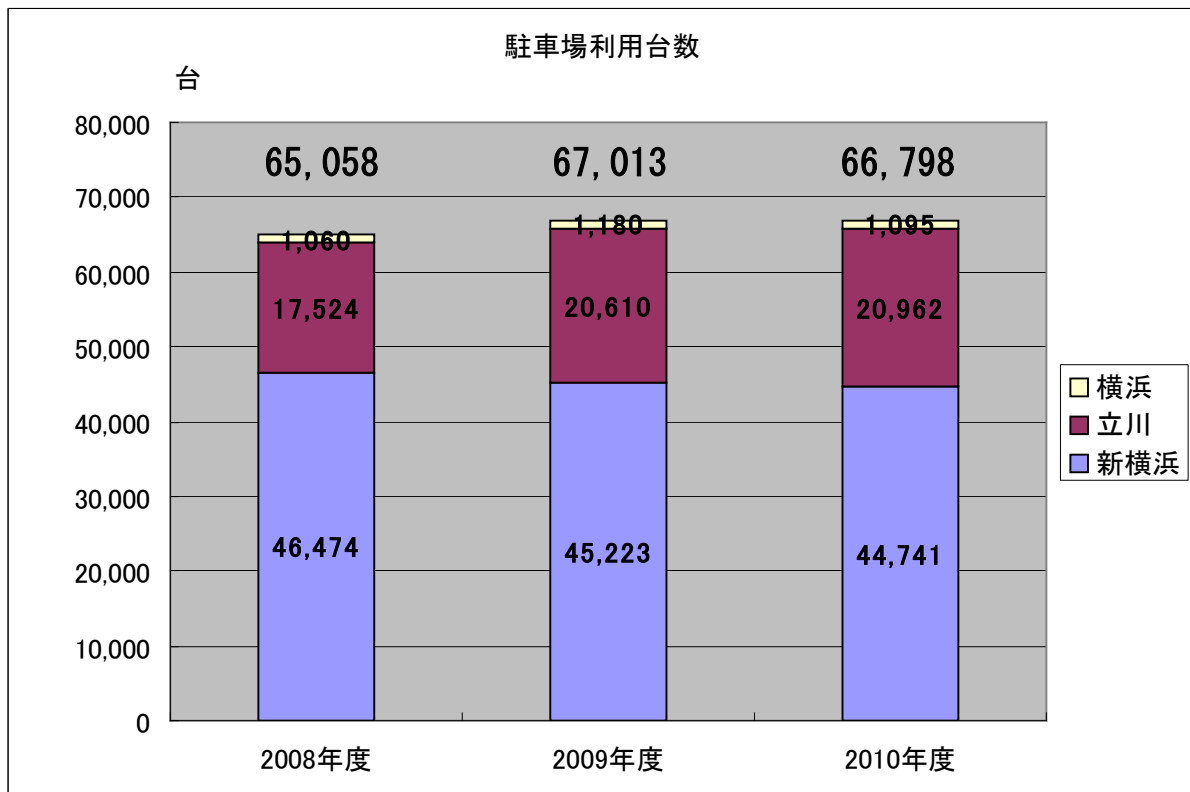


10) 駐車場利用台数。(車での来館数を減らし、排気ガスの削減)

「駐車場利用台数」

(単位 台)

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	46,474	45,223	44,741
立川グランドホテル	17,524	20,610	20,962
横浜国際ホテル	1,060	1,180	1,095
計	65,058	67,013	66,798



2010年度は、立川グランドホテルで増加しましたが、3ホテル合計では、2009年度を下回る台数になりました。

【公共機関推奨しおり】

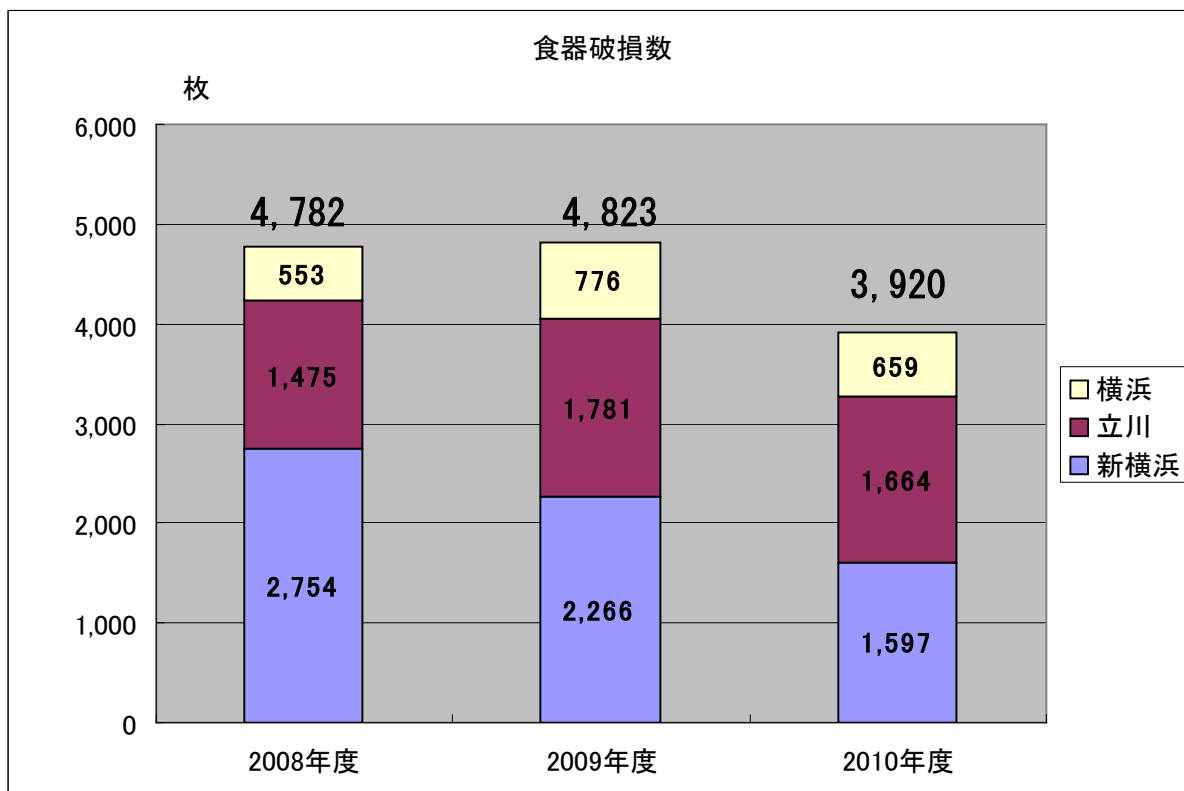


11)食器破損数の減少（廃棄物の削減）

「食器破損数」

（単位 枚）

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	2,754	2,266	1,597
立川グランドホテル	1,475	1,781	1,664
横浜国際ホテル	553	776	659
計	4,782	4,823	3,920



2010年度は、全てのホテルで2009年度を下回る破損数になりました。

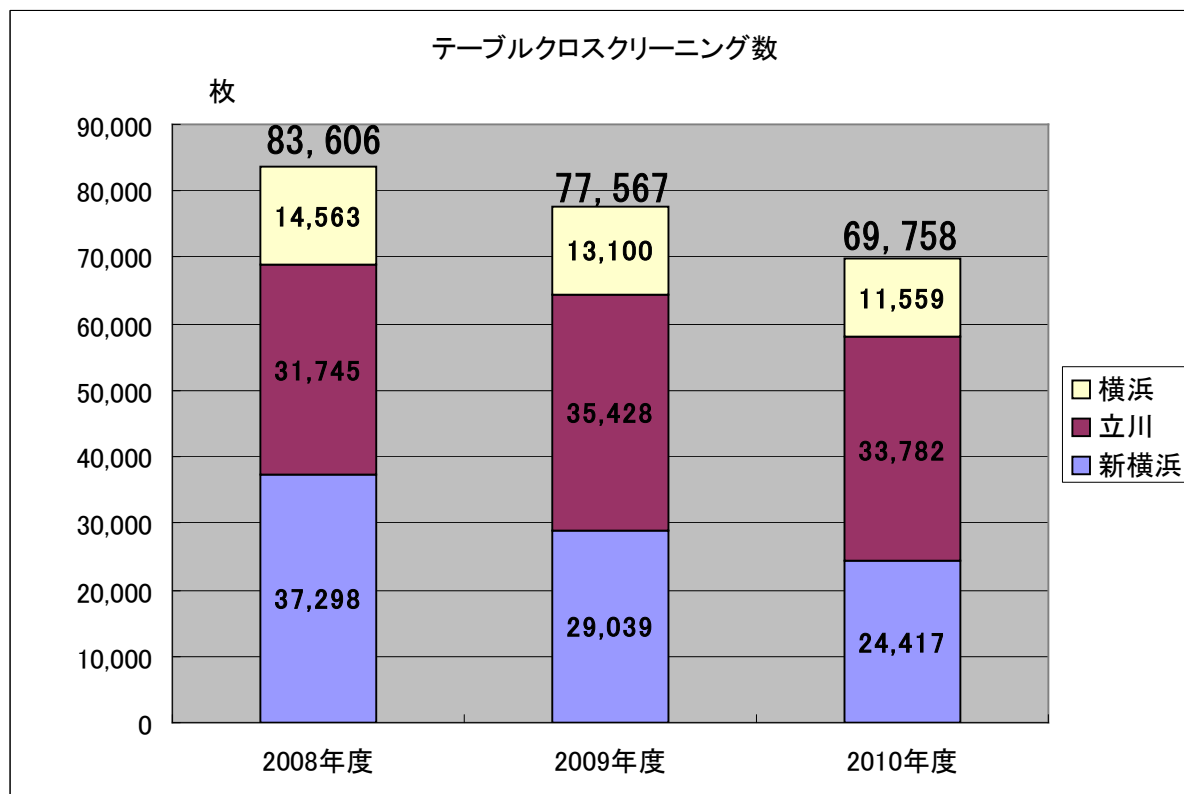
継続している環境活動の取り組み

12) テーブルクロスクリーニング数の減少（水質汚濁の防止）

「テーブルクロスクリーニング数」

（単位 枚）

ホテル名	2008年度	2009年度	2010年度
新横浜国際ホテル	37,298	29,039	24,417
立川グランドホテル	31,745	35,428	33,782
横浜国際ホテル	14,563	13,100	11,559
計	83,606	77,567	69,758



2010年度は、全てのホテルで2009年度より減らすことができました。これは、宴会課において婚礼下見会場専用のクロスを用意して、何度もクリーニングに出さない取組みの結果と思われます。

KA Rokusai Hotel Group

国際ホテル株式会社
業務支援室 ISO 事務局

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-7-8

TEL:045-474-0121 (代表)

FAX:045-474-0150

<http://www.khgrp.co.jp/>

2011年8月発行